

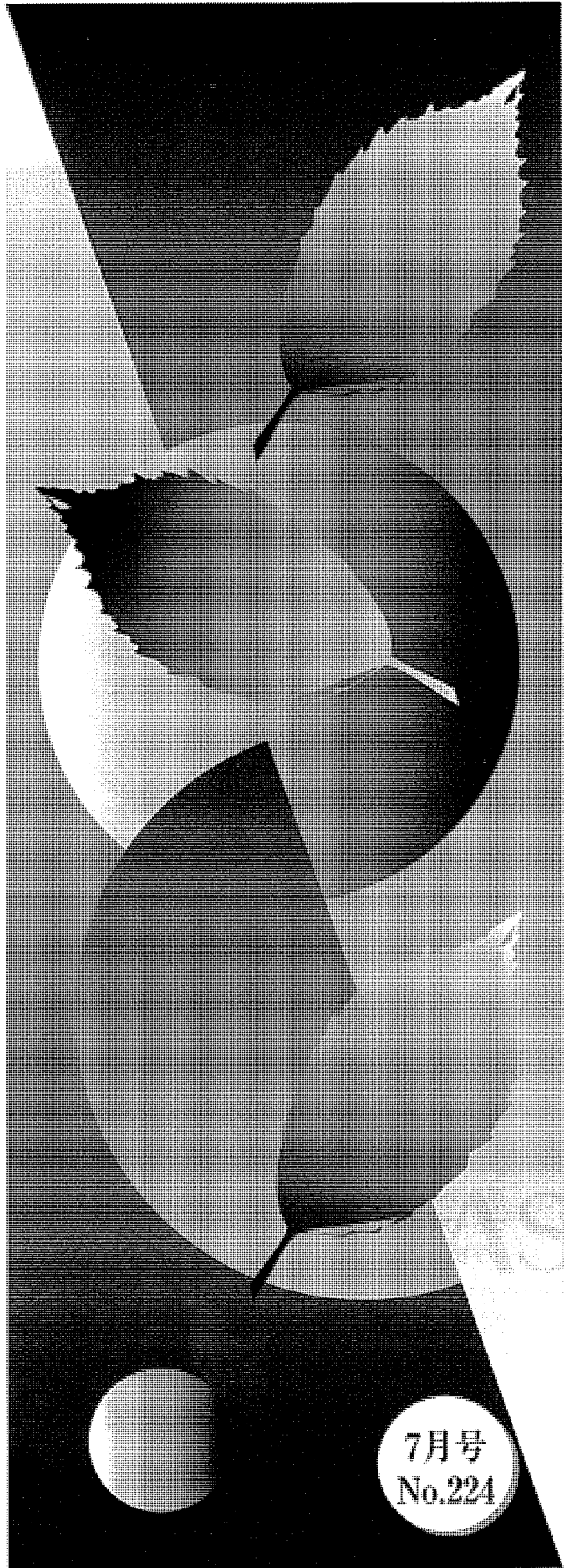
月刊

# 建材

# ナビ

特集..住宅の新しい顔づくり「ファサード  
エクステリア」提案で活性化をはかる  
住宅用門扉・フェンス市場

特集..都市部のカーポート離れに歯止めを  
掛けられる新たなカタチを模索する  
住宅用カーポート市場



7月号  
No.224

ミルト出版会  
〒182-0023 東京都調布市染地3-1-87  
ト-1-407号  
☎042-484-4507  
FAX 042-484-4509  
発行人 堤 祥行  
年間購読料 30,000円(送料・税込)

## 建材 navi 7月号-No.224 目次

<b>特集</b>	住宅の新しい顔づくり「ファサードエクステリア」提案で活性化をはかる住宅用門扉・フェンス市場	7
<b>特集</b>	都市部のカーポート離れに歯止めを掛けられる新たなカタチを模索する住宅用カーポート市場	8
	[環境・健康建材コーナー]	3
	[新製品・新技術情報/業界の動き]	16

© Miruto Shuppankai Ltd.2017 無断転載・コピーを禁ず

### 建材市場動向、環境・健康・景観建材情報をお手元に!!

FAX:042-484-4509までお申し込みください

キリトリ

月刊「建材navi」購読申込書

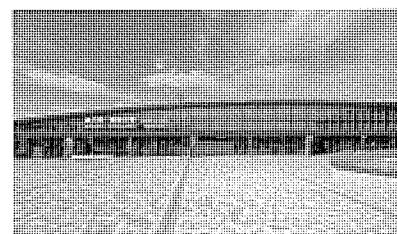
月刊「建材navi」を平成29年(2017年) <input type="text"/> 号(月号)より1年間購読します。 (年間購読料/送料・税込30,000円)			
貴社名	部署	ご芳名	印
送付先			☎
			FAX

## 【環境・健康建材コーナー】

昭和フロント「ストアフロントコンクール」

グランプリ作品「道の駅 常陸大宮~かわプラザ~」  
はじめ、各部門の金賞・銀賞・銅賞、優秀賞を選出

昭和フロント(長谷川伸二社長)は、「第48回ストアフロントコンクール」で応募総数1623件の中から、グランプリ受賞「道の駅 常陸大宮~かわプラザ~」(設計事務所:株式会



社協和コンサルタンツ/建設会社:鈴木・増子特定建設工事共同企業体/販売店・加工店:(株)千代田興業水戸営業所)をはじめ、店舗建築部門、一般建築部門の金賞・銀賞・銅賞、アイデア部門の優秀賞・優良賞を選出、表彰した。

八木幸二審査委員長はグランプリ作品について、「まず目につくのが、70m余の緩いカーブを描く長い屋根で、そのファサードを特徴付けているのが黒のフロント材アソートと木製ルーバーである。FA120ドアやHD180ドアの入る天井にも木製ルーバーが広がり、この巨大な空間を厳しい寒さや暑さから守る影の主役がフロント材である。反対側には久慈川まで降りていける大階段があり、バーベキュー施設もあるので子ども連れに大人気、観光客だけでなく地元の人にも愛されている施設の魅力に貢献しているフロントデザインはグランプリに値する」と評価した。

◇店舗建築部門——金賞「OGIYA垂水店」(設計事務所:有限会社河野建築設計事務所/建設会社:伸光建設(株)・(株)大兼工務店JV/販売店・加工店:

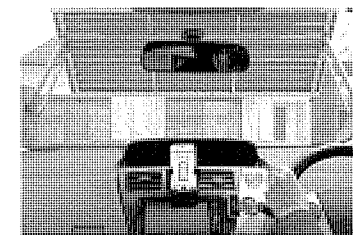
海堀フロント工業(株)、(株)トーカイ・ナック)。牛建務審査員コメント「従来のパチンコ店のデザインではなく、立体的に見えるグラフィック処理をした壁面と緑を取り入れた入口周りが今までの気化器的な雰囲気とは違う店のデザインを演出している」。

◇一般建築部門——金賞「岐阜ステーションビル」(設計事務所:株式会社リオ・コンサルティング/建設会社:ビルパートナーズ株式会社/販売店・加工店:株式会社リオ・コンサルティング)。橋本夕紀夫審査委員コメント「既存ビルのファサードがリニューアルされたもの。非常に個性的な表情を出しながらも、落ち着いた佇まいを見せている。既存の開口部のサッシラインとフロント材のグリッドの構成が計算されていて、美しいレイヤーが形成されている」。

◇アイデア部門——優秀賞「小渋ダム土砂バイパス機側棟」(加工店:株式会社タカフジ)。蛭間秀信審査委員コメント「図面通りの「加工精度があり、それを組立・施工する技術も素晴らしい、フロント材を使用して“窓を作る”の概念を超えて製作されておりました」。

LIXIL

スマートフォンからカーゲートの開閉操作ができる「カーゲート用通信ユニット」追加



LIXIL(瀬戸欣哉社長)は、ホームネットワークシステムを活用した「スマートエクステリア」シリーズに、スマートフォンからカーゲートの開閉操作を可能にする「カーゲート用通信ユニット」を新たに追加した。

通信機器「ホームユニット」に「カーゲート用通信ユニット」を繋ぐことで、スマートフォンの専用アプリや車載リモコンを使ったカーゲートの開閉操作ができる。スマートフォンの音声認識機能を活用した開閉モードの設定、車載リモコンでの開閉操作、エンジンONと連動してカーゲートが開く「スムーズ外出モード」の設定(閉める操作は手動)などが可能。

さらに、カーゲートの開閉通知により家族の外出や帰宅をスマートフォンで確認できる。屋外カメラを設置することで、侵入者の接近を検知、スマートフォンへの通知、映像録画、音声警告も可能なカメラ連動機能を搭載する。

取付対象商品は、カーゲート「オーバードアS」(電動タイプ)、「プレミエスゲート」(電動タイプ)。既設の「オーバードアS」にも取付可能。価格:ホームユニット2

5000円/カーゲート用通信ユニット・1台用3万2000円、2台用4万7000円/屋外カメラ・電源直結式4万3000円、電源コード付き4万5000円。

**意匠部材「デザイナーズパーツ」に「スリットスクリーン」「枕木材R」「デザイナーズレール」の3アイテム**

LIXILは、意匠部材「デザイナーズパーツ」シリーズに、「スリットスクリーン」、「枕木材R」、「デザイナーズレール」の3アイテムを追加した。

「スリットスクリーン」は、上部固定治具や連結部品を使用し、ベースとスクリーン本体を一体化、省施工を実現する。枕木材R 70×70・35×165、格子45×62の3デザイン。

「枕木材R」は、コーナー部分に丸みを持たせたデザインが特徴。4サイズバリエーション・エンボス調艶消し塗装のブラックとホワイトの2色。

「デザイナーズレール」は、玄関からファサードに向けて空間を繋ぐ幅70mm×厚さ25mmサイズのフレーム。傾斜部やコーナー部への対応、ライン照明(笠木の裏側にLEDライト)取付も可能。高さ2種類・幅4種類、ホワイトとブラックの2色。

**「Good Living フォーラム 2017」を開催中**

LIXILは、プロユーザー向けのイベント「Good Living フォーラム 2017」を全国11会場で開催中。5月金沢市、6月盛岡市、仙台市を終え、7月新潟市、高松市、名古屋市、8月札幌市、

宇都宮市、9月広島市、福岡市、10月大阪市で開催予定。

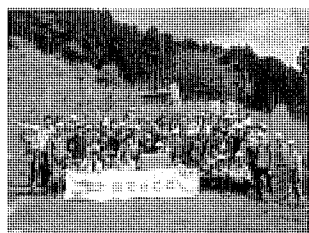
今回3回目のテーマは、「いい住まい・いい暮らしを考えるLIXIL～室温バリアフリーちょう℃いい暮らし～」。2020年省エネ基準の義務化やZEHの採用を見据え、快適な住まいの実現に対応した商品展示、基調講演、パネルディスカッションが行なわれる。

**「新築キャッシュバックキャンペーン」を開催中**

LIXILは、「LIXIL 新築キャッシュバックキャンペーン」を全国92カ所のショールームで8月31日まで開催中。

これは、新築施主を対象にキッチン、トイレ、洗面化粧台、玄関ドア、サッシの6カテゴリーすべてから対象商品を見積・成約し、商品ごとに設定された採用ポイントが60ポイントクリアすると、もれなく20万円キャッシュバックするキャンペーン。

**「森でeこと」春の活動三重・茨城を実施**



LIXILは、行政、NPO、森林組合などと協働し、森や里山の環境を保全するボランティア活動「森でeこと」2017年春の活動を実施した。

三重では113人が参加し5月27日伊賀市上阿波地区で、パッ

チデフェンス設置、枝打ち体験、皮むき間伐の作業を行なった。

茨城では61人が参加、6月10日土浦市実塚地区で竹林伐採を行なった。

**「ユニバーサル・ラン<スポーツ義足体験授業>」を全国で実施**

LIXILは、多様性を理解して互いを受け入れることを学ぶ「ユニバーサル・ラン<スポーツ義足体験授業>」を全国の小中学校を対象に4月より開始し、1回2時限のプログラムで「2020年までに2020時限の実施」をめざしている。

東京オリンピック・パラリンピック大会組織委員会の東京2020公認教育プログラムに認定されているもので、第1校目のさいたま市立与野八幡小学校の6年生4クラスを対象にした授業には、リオ2016パラリンピック競技大会動メダリストの佐藤圭太選手(トヨタ自動車)が講師として参加した。

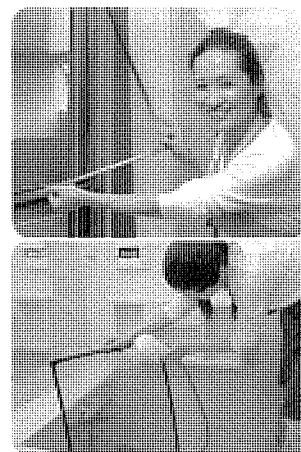
**セイキ販売**

**網だけ外して洗える「カートリッジ網戸/後付けキット」新発売 網部分だけをカートリッジ式に交換可能**

セイキ販売(守谷将人社長)は、網だけ外して洗える画期的な網戸「カートリッジ網戸/後付けキット」を発売した。

既設の網戸枠をそのまま利用し、網部分だけをカートリッジ式に変身させることができ、これまでの網交換における煩わしさを解消する「後付けキット」。

カートリッジ式の特長は、①室内側から手軽に網だけ外し、貼



り戻せること。②汚れたらいつでも好きなときにスポンジや中性洗剤を使い洗えること。③製品ごとのラベル情報で交換用の網カートリッジを簡単に注文・簡単交換できること。

網の種類は、一般的な防虫網に比べて網目の細かく防虫力に優れ、光の乱反射が少ないブラック色を採用した「24メッシュ」と、丈夫な樹脂コーティングを施した「ペット安心網」の2タイプを用意。中棧付き網戸の場合に上下でアミン使い分けも可能。

網交換・取付の流れは、網開口の幅・高さを採寸→注文・ぴったりサイズで届く→古い網を外す→網戸枠に「後付けキット」をはめ込む→金具で固定して完成。

「後付けアルミ枠」:シルバー、ステンカラー、ブロンズ、ブラックの4色。同色の「ステンレス固定金」。カートリッジ枠:PVC押出型材、ブラック色。

**ニチハ**

**御社名入り2018年版「ニチハオリジナルカレンダー」申込受付中**

ニチハ(山中龍夫社長)は、

御社名入り2018年版「ニチハオリジナルカレンダー」の申込を受付中。応募締め切り7月31日。

作品:本松進一氏の油彩作品「四季彩々」。サイズ:B2判4色刷・6枚物。価格:1部500円(税込)。申込は50部以上から。専用申込用紙に値はHPよりダウンロード可能。

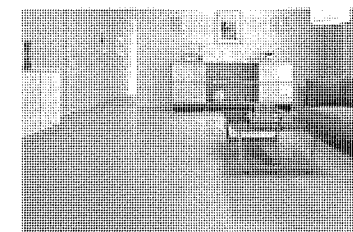
**第3回強靱化大賞の初代国土強靱化担当大臣(古屋圭司)賞を受賞**

ニチハは、「第3回ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)2017」で、「初代国土強靱化担当大臣(古屋圭司)賞」を受賞した。

ひき板を繊維方向が直交するように積層接着した大判パネルのCLT建築物に国産材を使用した同社の木質系セメントボードを外装とその下地に使い、外壁部分を木材のトリプル構造にしたことが、建築物のレジリエンス性を高める取り組みと評価された。2015年「ニチハエコ外壁プロジェクト」、2016年「オフセットサイディングを利用した公共建築物の価値向上に向けた取り組み」に続く3度目の受賞。

**大建工業**

**業界初の180mm幅広デザインのマンション用直張防音床材「ハピアオトユカ45」**



大建工業(億田正則社長)は、

マンション用直張防音床材「オトユカシリーズ」の新タイプとして、業界初の180mm幅広デザインの「ハピアオトユカ45(180幅タイプ)」を発売した。

特長は、①一般的な145mm幅の普及品に比べてゆったりとした上質な空間の演出。②幅広デザインで軽量床衝撃音低減性能△LL(1)―4(遮音等級L―45)をクリア。③幅広デザインの採用で施工効率を約20%アップ。

表面柄バリエーションは、石目柄、銘木柄など全16色。サイズ:13.8mm厚、180×905mmの樹脂含浸シート張り裏溝加工合板。

**天然木化粧床材「フォレスナチュラル」発売**

天然木化粧床材「フォレスナチュラル」を新発売した。

表面化粧材に代表的な銘木のシカモア、アッシュ、オーク、バーチ、ハードメープル、チェリー、ウォールナットの7樹種を採用した高意匠フロア。

すぐれた耐傷性、耐汚染性を備えた機能性と意匠性を合わせ持っていることが特長。床暖房対応タイプと一般用の2グレードを用意。サイズ12mm厚、303×1818mm。

**リフォーム用上貼りフロアにWPC床材「エクオスファイン6T」追加**

リフォーム用上貼りフロアに、傷が付きにくく、デザイン性に優れたWPC床材エクオスシリーズ「エクオスファイン6T」(WPC加工天然木化粧材・中高級タイプ)を追加発売した。

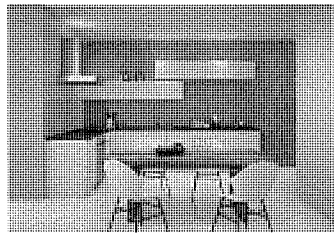
今回、これまで12mm品を中心にしていたWPCシリーズでは、初の薄厚タイプ(6mm)のWPCフロア。カラーバリエーションは5色。

**内装建材にシート化粧デザイン壁材「ハピアウォール」発売**

主力内装建材「ハピアシリーズ」に、シート化粧デザイン壁材「hapia wall(ハピアウォール)」を追加、新発売した。

新開発のハピアウォールデザインタイプは、立体デザインの「デザインパネル」と、フラット形状の「壁パネル」を組み合わせたこだわりの空間を演出する壁材の新提案。全5タイプ。

**ダイライト不燃壁材「グラビオ」に水まわり向け3タイプ追加**



軽量で加工性に優れたダイライト不燃壁材「GRAVIO(グラビオ)」の新商品第2弾として、水まわりに最適な機能性とデザイン性を備えた3タイプを追加した。

簡単な撥油機能をもつ「グラビオLS石目・抽象柄」、汚れに強く抗菌性能をもった「グラビオLA石目・抽象柄」、洗面まわりに最適な「グラビオTA石目・抽象柄/木目柄」の3タイプを新たに発売した。

**オプテックス**

**画像認識タイプ自動ドアセンサー「eスムーズセンサー・VVS-1/プロセーフV」新発売、早歩きつんのめり防止で安全な通行と、横切りだけではドアを開かせない不要開閉削減を実現**

オプテックス(上村徹社長)は、画像認識タイプ自動ドアセンサー「eスムーズセンサー・VVS-1/プロセーフV」を新開発、注目を浴びている。

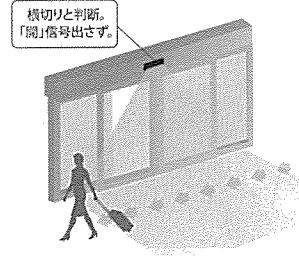
「eスムーズセンサー・VVS-1」は、自動ドア開閉時における通行者とドアの衝突回避と、横切り通行による不要開閉を削減し省エネ効果を高めることを両立させた新しいセンシング技術による画像認識タイプの自動ドアセンサー。

システム構成は、自動ドアへの起動出力を画像認識で行なう「VVS-1」(専用電源装置24Vオプション別売)と、これまでの赤外線センサー(オプション別売)とのハイブリッド構成となる。

「VVS-1」の機能・エリア設定は、LANケーブルで接続したパソコンから行なう方法。

セールスポイントは、①画像技術を用いて、人を認識する範囲として設定した「人体認識エリア」内の歩行者1人1人(最大70人)の動きを、より正確に認識、通行動線や歩行速度を検知して、歩く速度に合わせた最適なタイミングで自動ドアを開閉させて、早歩きによるつんのめりを防ぎ、ドアへの衝突を回避、安全で快適な通行を可能にしたこと。

②また、ドアの前を横切るだけか、あるいはドアに向ってくる



かを検知・判断することで不要なドア開閉を削減し、省エネ効果が高められること。多くの人がドア前を横切的过程中、正面あるいは斜めからドアに向う歩行者の動きを正確に認識する。

③さらに、オーナーが設置効果を確認できるようにスマートデバイス専用アプリを用意して可視化を実現したことも大きな特長だ。

スマートデバイス上の画面「オプテックス自動ドアビューア」では、従来の自動ドアセンサーと比較した環境への貢献率を示す「e-count」や、削減できた無駄開き回数・時間を示す「無駄開きキャンセル」、通行者と認識してドアを開いた回数・時間を示す「ドア進入」などが表示され、その数値を確認できる。

この環境への貢献率を示す画面を常時公開することで、店舗や企業が、環境保全意識の高さをアピールする使い方も可能で、これまで分かりにくかった省エネ効果を数値化して実感させてくれる。

新設住宅の減少傾向に対応して、エクステリア企業は1棟あたりの受注増を目的に新たな切り口を模索している。外構分野では、門扉・フェンスによるクロズドプラン、機能門柱を軸にしたオープンプランへの対応をテーマにしてきた。最近では玄関前から外構までのアプローチ空間づくりを意識したアイテム開発がテーマになっている。

玄関ドアだけではなく門まわり全体を「住宅の顔」として捉える「ファサードエクステリア」と分類される。ファサードエクステリアは、門まわり商品全体を空間形成アイテムとして再構成するもので、居住者の外観へのこだわり、ライフスタイルを表現することにつながっている。

LIXILのエクステリアライト「美彩」シリーズは、夜間の景観を演出する新アイテムとして高く評価されている。夜間の景観演出は、個別住宅にとどまらず、居住地全体の景観形成にも大きな影響を与えることになる。

ファサード空間づくりは、各種の意匠部材を駆使して行なわれる。ゲートやポール、スクリーンパネルなど各種パーツが、目的に応じたオリジナル空間づくりをサポートする。オープンプランやクロズドプランを含んだ新たな外構プランとして今後の成長が見込まれる。

**2016年度門扉約297億円・フェンス約557億6000万円、計約854億6000万円、前年比5.4%増加**

住宅用門扉・フェンスは、三協立山、四国化成工業、LIXIL、YKK APのアルミ系4社を中心に、

エスビック、タカショー、東洋工業、マチダコーポレーションのエクステリア企業で市場を形成する。

2016年度住宅用門扉・フェンス(大手4社)の販売実績は、門扉約297億円・フェンス約557億6000万円計約854億6000万円(前年比5.4%増)と推定される門扉・フェンスとも前年実績を上まわった。

LIXILは、門扉約182億円・フェンス約282億円、計464億円と推定される。門扉シェア61.3%、フェンスシェア50.6%を占める。門扉の開き、伸縮、跳ね上げの各タイプで高いシェアを堅持する。

「ファサードエクステリア」は、新たな住宅の顔の形成をめざすものだが、夜間を演出するエクステリアライト「美彩」、デザインと機能を兼ね備えた意匠部材「デザイナーズパーツ」のアイテム拡充を図った。さらに、IoT技術を駆使した「スマートエクステリア」シリーズの市場確立に取り組んでいる。

三協立山は、門扉約58億円・フェンス約153億円、計約211億円と推定される。フェンスは前年実績を上まわったが、門扉が苦戦して微増にとどまった。門扉では狭小地住宅に対応したスライド門扉「レナード」、カーテンゲート「エアリーナIIミニタイプ」、オープン外構対応の機能ポール「ファノバ」などを追加して、ファサードエクステリアの需要獲得に力を入れている。フェンスでは、好調なスチールメッシュに支えられると共に、目隠し・ルーバー・スクリーンの高機能タイプの拡充に力を入れている。

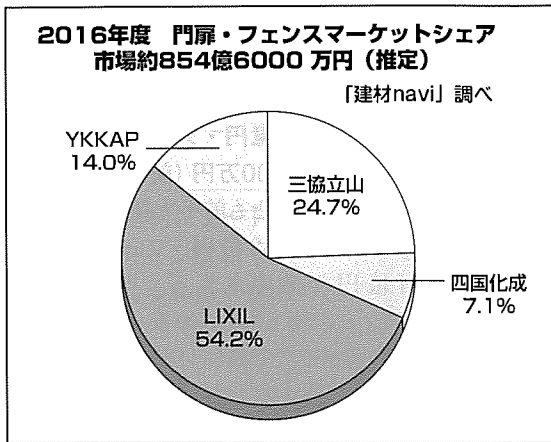
YKK APは、門扉約32億円・フェンス約87億円、計約119億円と推定される。門扉、フェンスとも前年実績を上まわりシェアをアップした。グレード別にみても、中級品が35%に増加したこと

**門扉・フェンスメーカーの主要代理店・特約店**

「建材ナビ」調べ(注)代理店は順不同

メーカー	主要代理店
三協立山	ウチダ商事、関東、マチダコーポレーション、メイク、協栄ジェネックス、根建、トーシンコーポレーション、フジクレスト、サングリーン、ワンデックス、ヒキダ建材、協和、山一商事、太田商事、井上定、アイシン、ダイセン工業、福島シービー、共栄商工、サネフジ、共立、東栄産業
四国化成	関東：井上定、大竹産業、関東、協栄ジェネックス、群峰工業、塚本商事機械、メイク、フジクレスト、ユアサ商事 中部：岡田商事、サングリーン、三富、ヒキダ建材、ユアサ商事 関西：アイシン、井上定、Gテリア、ユアサ商事、ワイス
LIXIL	群峰工業、三富、井上定、関東、メイク、協栄ジェネックス、Gテリア、エクシス、EXワタナベ、フジクレスト、大竹産業、エスビック、サングリーン
YKK AP	関東、メイク、サングリーン、共立、エクシス、井上定、名古屋井上定、Gテリア、アイシン、フジクレスト、群峰工業、本田商会、ワイス、テックス



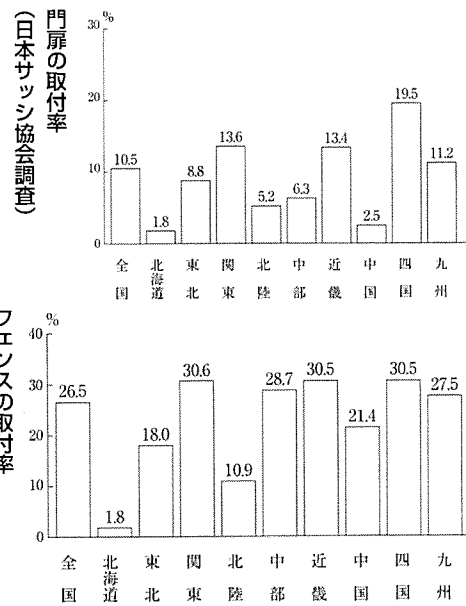


が特徴。これは住宅の玄関前アプローチ空間から門まわりまでトータルにデザインする、グッドデザイン賞受賞の「ルシアスシリーズ」の好調さを裏付けている。さらに、高級品「エクスティアラ」シリーズ、アルミ鋳物「シャローネ」シリーズなどのアイテム拡充で外構商品の高付加価値化を進めている。

四国化成工業は、門扉約25億円・フェンス約35億6000万円、計約60億6000万円と推定される。第3の塀・アルミシステム塀「アートウォール」や、線仕切の新発想ファサード「エクサク」シリーズなどを新開発して、改めて景観エクステリアのトップ企業の新商品開発力を示した。門まわり商品としては、既存の開き・伸縮・引戸・跳ね上げの各タイプにはない新たな発想の外構提案に力を注ぎ、オープン外構の進化に力を注いでいる。

開門扉型式別販売—開き40%、伸縮24%、引戸8%、跳ね上げ12%、その他(機能門柱・ポール等)16%

門扉・フェンスの販売傾向をみていく。門扉の型式別販売割合は、開きタイプ約119億円(構成比



40%)、伸縮タイプ約71億円(24%)、引戸タイプ約23億円(8%)、跳ね上げタイプ約35億円(12%)、その他機能門柱・ポール等約49億円(16%)。オープン外構プラン向けの機能門柱・ポール等が依然として増加している。

グレード別には、普及品(10万円)約60%、中級品(15万~20万円)約30~40%、高級品(20万円以上)約10%未満の販売割合。徐々に普及品から中級品へのシフトが進められている。

\* \* \*  
一方、門扉・フェンスの材質別販売割合は、アルミ型材約594億円(構成比69.5%)、アルミ鋳物23億円(2.7%)、スチール・ステンレス160億円(18.8%)、その他(アルミ樹脂複合・アルミ木複合等)77億6000万円(9.0%)。アルミ型材、スチールが若干ポイントを落とした分だけ、アルミ樹脂・アルミ木複合などの複合素材が増えている。

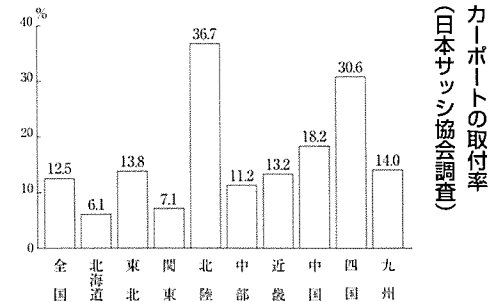
## 特集2: 都市部のカーポート離れに歯止めを掛けられる 新たなカタチを模索する住宅用カーポート市場

2016年度住宅用カーポート販売高約467億円と前年比1.5%の減少  
500億円大台の回復から遠ざかる

住宅用カーポートは、三協立山、四国化成工業、

ビニフレーム工業、LIXIL、YKKAPをはじめ、オーダーメーカーやガレージメーカーなどが市場を形成する。

2016年度住宅用カーポート販売高(5社)は、約467億円と前年比1.5%減少した。2年連続の



減少で500億円の大台から遠ざかりつつある。都市部における狭小地住宅の増加がカーポート離れの要因のひとつといわれる。

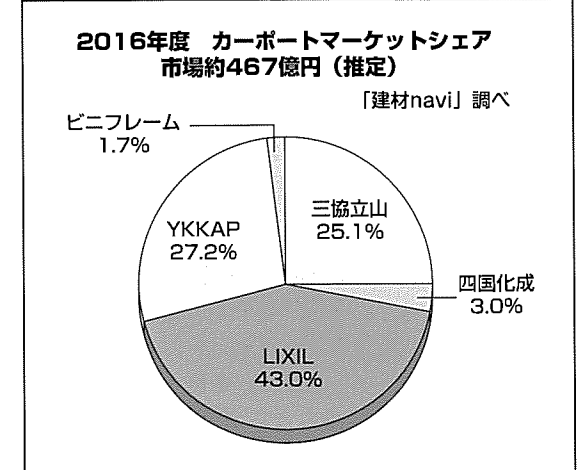
メーカー別にみる。LIXILは約201億円と微減、シェア43.0%とほぼ横ばいで推移した。新スタンダードカーポート「フーゴ」シリーズを主力に展開する。「フーゴ900」の耐積雪量30cm相当に代表されるように、耐積雪・耐風圧の高強度カーポートの販売拡大に力を注いでいる。折板カーポートは約49億円と全体の約25%を占める。

YKKAPは約127億円と微増、シェア27.2%とポイントアップした。両側支持タイプの販売比率が高いことも特長。こうした高強度カーポートの開発・販売に力点を置いている。耐積雪100cm相当の耐積雪タイプは販売全体の21%、耐風圧42m/s相当の耐強風タイプが31%を占める。折板カーポートは約32億円と全体の25%を占めている。

三協立山は約117億円と横ばい。主力商品「カムフィエース」(24万5000円)が、カーポート全体のおよそ40%を占めている。折板カーポートは約15億円、全体の13%を占める。耐強風性能を兼ね備える耐積雪5タイプは、販売全体の約24%と増加をつづけている。

四国化成工業は約13億7000万円と減少。オリジナルデザインの後方支持カーポート「マイポート」シリーズに、「マイポート Origin(オリジン)」を新発売した。後方両側支柱で直線基調の上吊り屋根フォルム。最新住宅スタイルに合ったデザイン性をセールスポイントに最近のカーポート離れに対応する。

ビニフレーム工業は約8億2000万円と減少。業界最強の折板カーポート「ブローニα」を主力に、高強度カーポート市場の一翼を担っている。全タイ



プが耐風圧強度Vo = 46cm/s相当仕様、耐積雪200cm相当・2台用6本柱仕様を含む豊富なバリエーションも特長。また、東北、北陸の積雪地域を中心に展開し、合掌、2台3台用が販売全体の70%を占めている。

2耐積雪・耐強風の高強度カーポートの拡大につづく、住宅外観スタイルに合うフラット屋根形状が増加

カーポートの売れ筋商品は、一般向けの耐積雪20cm相当・耐風圧38m/s相当仕様、ポリカ屋根片側支持タイプの普及品クラス(25万円)。販売全体の約40%を占めている。

一方、耐積雪・耐強風の高強度カーポートとして注目される折板カーポートは、LIXIL、YKKAPが販売全体の約25%、三協立山、四国化成工業も約15%と拡大傾向にある。

折板カーポートが強度だけではなく、フルフラット屋根形状のデザイン性にも注目が集まっている。最近ではポリカ屋根でも限りなくフラットに近いものが人気を博している。これも折板カーポートの影響のひとつといえそう。フラット屋根は直線的な住宅外観スタイルとのデザインコーディネートに優れており、これまでのアール屋根スタイルからの転換を促進していくとおもわれる。

こうしたフラットな屋根スタイルは、屋根部を下から見たときのデザイン性に配慮したガレージタイプの高級カーポートにも広がっている。いずれにしても、カーポート離れに歯止めを掛けるような新しい

スタイル・機能のカーポートが求められている。

### 三協立山

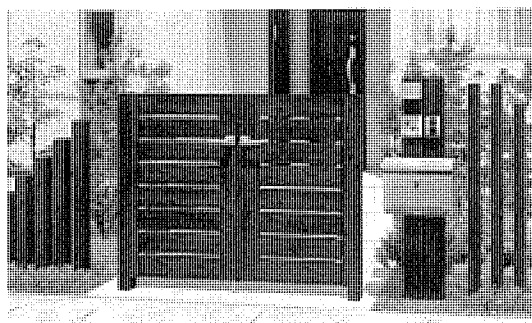
#### 外構をドレスアップするファサードエクステリア「フィオーレ」に「アーチ」「枕木」等追加しアイテムを拡充

【新商品】■ファサード・門まわり——◆ファサードエクステリア「フィオーレ」:外構をドレスアップするアイテムとして、存在感ある「アーチ」、本格的な木調「枕木」、湿式壁のアクセント「ブロック笠木+ガーデンスクリーン」を追加。◆機能ポール「ファノーバ」:デザイン性のみならずポール本体の工場組立、ポスト・インターホンの取付用穴加工タイプなど現場作業を向上。形材タイプ3種・木調タイプ9種。◆「ポスト」:口金タイプにシンプルでフラットな2タイプ追加。◆歩行者用補助すり「ジーエムライン」:支柱と同サイズの笠木を採用し、シャープで一体感のあるスタイリッシュなアプローチを演出。シンプルな横棧と南欧風のたて棧を用意。

◆形材門扉「フレイナ」:扉の細部にまで木目の風合いにこだわったシンプルなデザインの新型木調門扉。門柱と門扉の高さを同じに設定し一体感のあるフラットな設計。開閉時の操作音を低減する工夫もされている。門まわりから玄関ドアまで色調を合わせたトータルコーディネートも可能。電池錠付き門扉(エントリーキータイプ)も用意。◆「フレイナハイタイプ」:最大高さ2m×有効開口幅2mに対応。高さ3サイズ・幅4サイズから選択。

◆形材フェンス「フレイナ」:浮造り調の新木調色を採用したベーシックな8デザインを用意。デザイン違いでもラインが揃う同一の格子サイズとピッチを設定。支柱ピッチ最大2000mm。切り詰めのムダを削減するW1200mm設定。目隠しと通風機能を両立したルーバータイプも用意。◆形材フェンス「エルファード」:H1200mmとコーナー支柱を追加。◆形材フェンス「多段支柱」:フリー支柱タイプにφ100のボイド管に入る「60角支柱」を追加。都市型マンション向けにハイモジュールタイプを設定。

■車庫まわり——◆カーポート「カムフィエース」:柱の高さをリニューアル。標準柱2250mm、ハイルーフ2500mm仕様を追加。◆カーポート用「屋根パネル」:熱線遮断ポリカーボネート板に明るい「かすみ調」を追加。G-1ssとG-1を「除く全カーポ



三協立山: 新型木調門扉「フレイナ」/機能ポール「コレット2型」、門まわりから玄関ドアまで色調を合わせてコーディネート

トに対応。

【現況】外構のドレスアップを狙いとしたファサードエクステリア「フィオーレ」シリーズに新アイテムを追加したほか、新型木調門扉・フェンス「フレイナ」シリーズを発売し、外構と玄関ドアとのトータルコーディネート提案を拡充した。外装・開口部商品とのデザインコーディネートは、1棟全体のエクステリア商品の需要拡大に欠かせないテーマとして重視される。

デザイン面では、最近人気の木調タイプの品揃えを充実させている。とくに木調ラミネートの中でも、細部にこだわった仕様や質感に優れた浮造り調を新たに採用している。こうした高品質・高品位な商品群を投入し、停滞する門扉市場の活性化を狙っている。

■門まわり——ファサードエクステリア「フィオーレ」でオープン外構に対応すると共に1棟あたりの受注高の拡大を図っている。また、狭小地住宅向けには、スライド門扉「レナード」、カーテンゲート「エアリーナII」ミニタイプを提案する。

門扉の売れ筋商品は、両開き0712サイズ10万~14万円の形材門扉シリーズ。形材全体の30%弱を占める。グレード別には、普及品(10万円)約60%弱、中級品(15万円)40%弱、高級品(20万円以上)僅少の比率。型式別には、開き38%、伸縮28%、引戸・折戸12%、跳ね上げ12%、その他(アーチ・門柱等)10%。

フェンスは売上高153億円と約3%増。依然として成長を堅持している。なかでも目隠しタイプ、ルーバータイプ、スクリーンタイプの売行きが好調のよう

だ。門扉・フェンスの材質別販売割合は、形材74%、スチール・ステンレス22%、鋳物、アルミ樹脂複合がそれぞれ僅少。

■カーポート——売れ筋商品は、片側支持・ポリカ屋根「カムフィエース」24

5000円で販売全体の約40%を占める。耐積雪・耐強風タイプは5機種の品揃えで、販売全体の30%弱を占める。

屋根デザインでは、アール約51%、フラット約33%、折板13%、上吊り僅少。タイプ別には片側支持タイプ約76%。両側支持約25%。

門扉・フェンス/カーポート地域圏には、北海道・東北圏6%、関東・甲信越圏32%、中部・北陸圏30%、近畿圏16%、中国・四国圏10%、九州圏6%。

### 四国化成工業

#### オープン外構対応機能門柱「アートウォール門柱」、玄関先のウェルカムポーチ「エクサクルーフ」を新発売

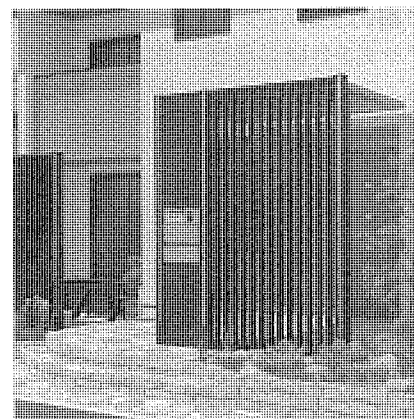
【新商品】■ウェルカムポーチ「エクサクルーフ」:オープンファサード「エクサク」の新アイテム。フラット屋根と支柱・ゲートを組み合わせて玄関先に新たな接客空間、各種の「スクリーンセット」と組み合わせたプライベート空間、「エクサクゲート」と連結したアプローチ空間などを創りあげることができる。

■飾り塀スタイルの機能門柱「アートウォール門柱」:自然素材で仕上げられた本体にアクセントタイルを埋め込んだフラットデザインの飾り塀スタイル門柱。タイル目地部を本体と同色仕上げにしているほか、内蔵照明で浮かび上がる表札に切り文字を採用、裏側のポストボックスも飛び出さないようにするなど、フラットフェイスにこだわったデザイン。

■アイテム追加——◇壁掛けポスト「アルメールW7型」。◇「クレディ門扉11型/12型」(面格子のフラットなデザイン)。◇「バリューフェンス11型/12型」「アレグリアフェンス5型(ルーバータイプ)/6型」。◇歩行補助すり「セーフティビームFD型」(スタイリッシュなフラットデザイン)。◇外装材「パレットCXローラー塗りタイプ」(石目調6色。防汚効果・防藻効果を生かし外塀や門柱の美しさを持続する)。

■後方支持カーポート「マイポートシリーズ」(最新の住宅外観スタイルにフィットする斬新な意匠性

四国化成:ウェルカムポーチ「エクサクルーフ」、フラット屋根と支柱・ゲートを組み合わせて玄関先に接客空間を創造



と、敷地を有効活用できるうえに車庫入れ・乗降のストレスを解消する新たな後方支持スタイルのカーポート)——◆「マイポート Origin (オリジン)」:「マイポートV」「マイポートNext」「マイポートneo」につづく後方支持カーポートの新アイテム。後方両側支柱による上吊りタイプ。直線基調のフラットな屋根のフォルムが特長。耐積雪20cm相当(耐積雪強化パーツ使用時30cm相当にアップ)と同50cm相当を用意。◆「マイポート Origin FX」:フラットな屋根フォルムの片側支持の上吊りタイプ1台用。両側支持の2台用・3台用。標準支柱・奥行方向±200mm、移動支柱・開口方向±500mm/奥行方向±200mmまで柱を敷地に合わせて移動できることが特長。

【現況】寛ぎの空間提案としての「リビング・エクステリア」では、ガーデンルーム「F.リード憩(いこい)」シリーズ、木調タイプ「アレグリアテラス」、「スマートテラス」を展開する。

その一方、「ファサードエクステリア」では、安全な第三の塀・アルミシステム塀「アートウォール」、オープンファサード「エクサク」シリーズを主力商品にした新たな外構プランを提案、住まいの顔のグレードアップを進める。

さらに、カーポートでは、これまでにない斬新なスタイルの後方支持カーポート「マイポートシリーズ」のバリエーションを更に拡充している。

いずれも快適で開放的なエクステリア空間の創造と美観形成の両立を図るもので、業界屈指の商品開発力を生かした独創的な商品群といえる。

■門まわり——エクステリアプランの狭小化やオープン外構の増加に対応して機能門柱を強化する。「ファミリー門柱」は、大型郵便物への対応を標準とし、2世帯対応、宅配ボックス付き仕様も用意する。

門扉の売れ筋商品は、0812 サイズ・両開き柱仕様。グレード別には、普及品(10万円)85%、中級品(30万円)10%、高級品(70万円)5%と普及品が圧倒的に多い。型式別には、開き29%、伸縮24%、引戸5%、跳ね上げ2%、その他(アーチ門柱等)40%の割合。門柱などオープン外構プランに対応した商品が、拡大傾向にあることが特徴。

フェンスでは、普及タイプのアルミ形材タイプとスチールメッシュタイプが圧倒的に多い。同時に、中高級品の目隠しタイプや木調タイプ、さらに高強度タイプが堅調に推移している。

門扉・フェンスの材質別は、形材77%、スチールステンレス12%、アルミ鋳物4%、アルミ樹脂複合8%の比率。

■カーポート——後方支持カーポート「マイポートシリーズ」の拡販と共に、耐強風・耐積雪の高強度カーポートの浸透にも力を入れる。売れ筋商品は、片側支持・アール屋根1台用で販売全体の15%を占める。耐強風・耐積雪タイプは、折板屋根カーポート「レジポートSG」シリーズ。耐積雪50・100・150・200cm相当、耐風圧強度54m/s相当(3台用46m/s相当)の豊富なバリエーションを展開、販売全体の13%を占める。

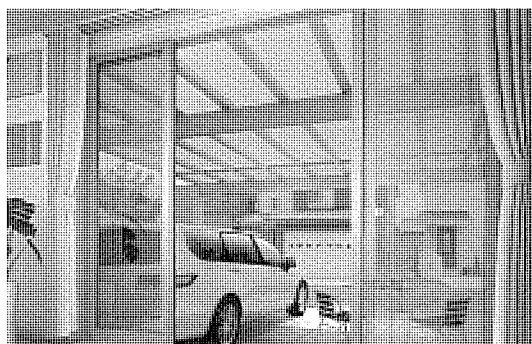
屋根デザインは、上吊タイプ44%、アールタイプ25%、フラットタイプ18%、折板タイプ13%の割合。タイプ別には、片側支持28%、両側支持53%、合掌、2台・3台用19%。

門扉・フェンス、カーポートの地域圏別には、北海道・東北圏9%、関東・甲信越圏44%、中部・北陸圏10%、近畿圏16%、中国・四国圏13%、九州圏8%。

## ビニフレーム工業

### ポリカ製フラット屋根「ブローニ Bright(ブライト)」、耐積雪50cm相当・耐風圧性38m/秒の高強度仕様

【カーポート】■折板カーポート「ブローニα」シリーズ(長期荷重設計を採用した業界最強度の折



ビニフレーム工業：ポリカ屋根「ブローニ Bright」  
基本仕様：耐積雪量50cm、耐風圧Vo=38m/s  
の高強度仕様、室内側から眺望性にも優れている

板カーポートとして高強度カーポート市場を牽引する)——◆特長：住宅用カーポートは、一般的に6本柱・積雪量100cm相当、8本柱・積雪量150cm相当が限界とされる中で、2台用6本柱仕様・耐積雪量200cm相当を実現した。

また、耐積雪強度ばかりではなく、シリーズ全商品が耐風圧強度Vo=46m/s相当と、台風時の揺れや吹き上げに強く、大地震にも崩壊しない標準せん断力係数Co=1.0以上の高強度設計を採用していることも特長。

◆仕様：桁構造は業界最大高さ300mm(特許取得済)をはじめ260mm・220mm・170mmの4種類。柱は角柱(115×115mm、130×130mm、140×140mm)と丸柱(φ170)の2種類。カラーはツヤ消しブラック、アーバングレー、ツヤ消しシルバーの3色。オプションに、スクリーン用格子「グレイスライト」(11色)、横梁セット、タイヤラック、側面パネル、化粧パネルなどを用意。

◆商品バリエーション：◇耐積雪量50cm(1500N/m<sup>2</sup>)タイプ：4本柱1台・2台・3台用等。◇耐積雪量100cm(3000N/m<sup>2</sup>)タイプ：4本柱1台・2台用、6本柱3台用連結、8本柱3台用等。◇耐積雪量150cm(4500N/m<sup>2</sup>)タイプ：6本柱1台・2台用、9本柱3台用連結等。◇耐積雪量200cm(6000N/m<sup>2</sup>)タイプ：6本柱1台・2台用、8本柱2台用ワイド、9本柱3台用連結等。

■カーポート「ブローニ Bright(ブライト)」シリーズ(住宅用カーポートのポリウムゾーン向け商品)——◆特長：熱線吸収ポリカーボネート板のフラッ

ト屋根・4本柱仕様のシンプルなスタイル。屋根下から見上げた際のフラットな屋根パネルデザインもセールスポイント。人気のポリカーボネート製フラット屋根デザインと、耐積雪量50cm相当のワンランク上の強度を合わせ持ったカーポート。◆仕様：垂木と垂木カバーの幅を60mm、屋根パネルのみこみ量を25mmに設定、垂木に垂木カバーを引っ掛ける構造で強度を確保。耐積雪量50cm相当(1500N/m<sup>2</sup>)。基準風速Vo=38m/s相当(パネルサポート使用時Vo=42m/s相当)。4本柱の2台用(受注生産品1台用、1台用ワイド)。カラーはアーバングレー、ツヤ消しシルバーの2色。

■カーポート「グルーヴ」(住宅用カーポートの普及品)——◆特長：屋根材・側面パネル材に両面耐候・熱線カットのポリカーボネート板を採用。ロング柱セットで標準柱+500mmの高さに対応。耐積雪量20cm相当。「AⅢ」(Y合掌・M合掌・奥行連棟。ツヤ消しブラック、アーバングレー)。「NB」(M合掌。ツヤ消しブラック)。「CⅡ」(奥行連棟。ツヤ消しブラック、アーバングレー、ブロンズ)を用意する。

【現況】折板カーポート「ブローニα」シリーズは、最近の異常気象にも対応できる高強度カーポートとして積雪地域以外にも需要を開拓しつつある。とくに、台風通過地域や強風地域での採用の拡大が見込まれている。

また、ポリウムゾーン向けに展開するポリカーボネート製屋根カーポート「ブローニ Bright(ブライト)」も、一般的なカーポートに比べて、ワンランク上の耐積雪・耐風圧性能を保持した商品として全国展開を図っている。

販売傾向をみると、折板カーポートが販売全体の90%を占める。売れ筋商品は、W5400・耐積雪量150cm(4500N/m<sup>2</sup>)タイプで販売全体の15%を占める。耐積雪タイプとしては折板カーポートが90%を占めるが、4本柱ポリカ屋根カーポートも耐強風タイプの5%を占めている。さらに、タイプ別では、2台用・3台用が圧倒的に多く、全体の70%に達する。

地域圏別には、北海道・東北圏40%、中部・北陸圏30%を主体に、関東・甲信越圏10%、九州圏10%、近畿圏5%、中国・四国圏5%の比率。

積雪地域を主要なターゲットである点に変わりはないが、徐々に強風地域や都市部に広がりを見せている。

## LIXIL

### 個性的なファサードを演出する「デザイナーズパーツ」拡充、スマホや車載リモコンによるゲート開閉実現

【新商品】■デザインと機能を兼ね備えた意匠部材「デザイナーズパーツ」(アクセントとなる「パーツ」と、アーチや門袖、スクリーンなどの「ユニット」をカスタマイズして空間を演出する)——◆「スリットスクリーン」：ゆるやかに境界線や空間を仕切り、横棧のないノイズレスな3デザインのスクリーン。ベースとスクリーン本体を一体化して省施工を実現。◆「枕木材R」：スリットスクリーンにも使用されるコーナー部分に丸みを持たせてデザイン。ワンポイント部材、間仕切り、目隠しなど多目的に使用できる。ブラックとホワイトの2色。◆「デザイナーズレール」：玄関からファサードに向けての空間を繋ぐ新発想フレーム。角部分に丸みをもたせた幅70×厚さ25mmサイズ。オプションで笠木の裏側にLEDライトの取付、夜間のアプローチを演出することも可能。

■「スマートエクステリア」(スマートフォンと連動するLIXILのホームネットワークシステム。家庭の無線LANと各機器を無線通信で繋ぐ「ホームユニット」、ファサードを見守る屋外カメラ、愛車のカーポートカメラセット、ガーデンルームにも使える屋内カメラなど用意。ホームユニット1台につきカメラ4台まで接続可能。宅配ボックス「リンクボックス」にして荷受の確認をどこでも可能)——◆「カーゲート通信ユニット」：ホームユニットに接続し、スマートフォンの専用アプリや車載リモコンを使ったカーゲートの開閉操作、エンジンONと連動してカーゲートオープンなどができるほか、音声認識機能を活用した開閉も可能。さらに、カーゲートの開閉通知によって家族の外出や帰宅をスマートフォンで確認すること、屋外カメラと連動させて侵入者が近づくことの検知、通知もできる。

■エクステリアライト「美彩」(グッドデザインアワード2015 BEST100受賞/グッドデザイン賞アワード2016受賞/iFデザインアワード2017受賞)



LIXIL: デザインと機能を兼ね備えた意匠部材「デザイナーズパーツ」の新アイテム、スリットスクリーン、枕木R、デザイナーズレール施工イメージ

—◆DC 12V照明(電気工事資格不要): ラインライトシリーズ/ダウンライト、ダウンスポットライト、行灯照明、ホワイトカラー。◆AC 100V照明(要電気工事資格): スパイクスポットライト/エントランスライトを品揃え。

【現況】 話題のIoT技術にもとづくLIXIL独自の通信機器「ホームユニット」を用いたホームネットワークシステム「スマートエクステリア」に、「カーゲート用通信ユニット」を追加し、スマートフォンや車載カメラによるカーゲート開閉操作・在宅確認、さらに屋内外カメラによる侵入者検知・室内監視などをスマートフォンから行なえるようにした。

また、住宅エクステリアの活性化を図る「メイキングアップ ファサード」活動を強化する。住宅の夜間景観の美しさを追求するエクステリアライト「美彩」シリーズと共に、デザインと機能を兼ね備えた門まわりを演出する「デザイナーズパーツ」シリーズのアイテムを拡充した。いずれも新たな需要創造による住宅エクステリアの多様化の推進、市場規模の拡大に狙いがある。

■門まわり—門扉の売れ筋商品は「プレミエス」(10万5000円)。グレード別には、普及品(10万円台)「プレスタ」等60%、中級品(18万円超)「ジオーナ」等30%、高級品(40万円超)10%の販売比率。型式別には、開き44%、伸縮23%、引戸7%、跳ね上げ14%、その他(アーチ・門柱等)12%の割合。

門扉・フェンス材質別には、型材62%、アルミ

鋳物3%、スチール・ステンレス21%、アルミ樹脂複合僅少、その他14%の比率。

■カーポート—売れ筋商品は、新スタンダード「フーゴ」(24万3000円)と「ネスカ」(23万3000円)の両シリーズ。屋根デザインは、アール42%、フラット32%、折板24%、上吊り・その他僅少。タイプ別には、片側支持タイプ58%、両側支持タイプ40%、ガレージタイプ僅少。

耐積雪・耐風圧カーポート—折板カーポート「テリオスポートⅢ」(耐積雪100・150・200cm相当、耐風圧54m/s相当)。「ウインスリーポートⅡ」(耐積雪200・150・100・50cm相当、耐風圧54m/s相当)。「ソルディポート」(耐積雪150・100・50cm相当、耐風圧46m/s相当)。ガレージタイプ「スタイルコートL」(耐積雪100・50cm相当)。「フリーポートⅢ」「ファインポートⅡZ」(50cm相当、46m/s相当)。「フーゴR/F/A」(耐積雪40・30cm相当、耐風圧46m/s相当)。「ネスカF/R」「フリーポートⅢ」(耐積雪30cm相当、38m/s相当)など、多彩なバリエーション。耐積雪50cm相当以上30%強、耐風圧46m/s以上9%の販売比率。

門扉・フェンス、カーポート地域圏別は、北海道・東北圏9%、関東・甲信越圏40%、中部・北陸圏16%、近畿圏19%、中国・四国圏6%、九州圏10%の比率。

### YKK AP

#### 風格ある佇まいの「エクステリア アーチ用高尺門扉」、エレガントなアルミ鋳物「シャローネ」発売

【新商品】■門まわり—◆「エクステリア アーチ用門扉」: 業界初の三方枠自立式アーチ用高尺門扉シリーズ。サイズH2100・2300、デザインH4型内部の様子が見えるランダム横格子(2色)・H5型完全目隠しのプレーン(4色)の2機種。玄関ドアと同一キーを使用するピタットKeyシステム採用。単独での使用も可能。

■「ルシアスシリーズ」—◆「ルシアスルーフ」(後付けで耐積雪50・100・150cm相当を用意。本体・桁・袖スクリーン2色、化粧パネル4デザイン6色、軒天パネル5色)。◆ルシアスシリーズのフェンス、ポストユニット、ウォール、門扉に規格追加。

■門扉・フェンス—◆「シャローネ門扉」: ロートアイアンのように洗練されたディテールの流麗なアルミ鋳物デザイン。EBデザイン(W04・08、H14・16)にリボン、クラウン、剣先の3デザイン、ECデザインに唐草、ラチスの2デザイン、全5色。◆「シャローネフェンス」: 門扉とペアデザインのRトップ、アーチ、剣先、ラチスの4デザイン、全5色。

◆「シンプレオ門扉」: 従来のベーシックなデザイン「エクスライン・レステイン門扉」をリニューアル。たて框をスリム化した軽快でシンプルな意匠。高尺・幅広サイズ、集合住宅用ポーチタイプを含む全15デザイン・全5色のバリエーション。◆「シンプレオフェンス」: ポリカパネル、ルーバータイプなど全22デザイン、全5色を用意。

■カーポート—◆「ファクトポート/ファクトポートS」: ポリカ波板カーポート(ファクトポートSのみガルバリウム波板仕様可能)。耐積雪20cm相当。「ファクトポート」耐風圧34m/s相当。「ファクトポートS」耐風圧42m/s相当。本体カラー全4色。◆「ジーポートneo」(耐積雪60cm相当・最大サイズ3台用8本柱タイプ)。「レオンポートneo」(耐積雪30cm相当・最大サイズ3台用4本柱タイプ): 「ソーラーパネル搭載用」(ソーラーラック・部品含む)を新発売。ソーラーパネルは現地手配。各社のソーラーパネルが設置可能な汎用性も特長。本体カラー全4色。

【現況】 住宅外観から玄関前アプローチ空間、外構まわりをトータルにデザインする「ルシアスシリーズ」(グッドデザイン賞受賞)を中心に、オープン外構プランに対応する。とくに、機能門柱を強化しており、乾式門袖ユニット「ルシアスウォール」W800サイズの追加、「シンプレオポストユニット1型」に2色追加、防犯性を高める片開き専用「シンプレオ門扉」などを投入した。

その一方、高級品「エクステリアシリーズ」に上質な風格をたたえる「アーチ用高尺門扉」を発売してクローズド外構プランに込めている。こうした住宅外観をグレードアップする外構エクステリア商品の展開に力を入れている。

■門まわり—門扉売れ筋商品は親子開き04・08—12、両開き07万12サイズ。価格帯10万~18万円で販売全体の50%を占める。グレード別には、普及品(10万円)58%、中級品(18万円)



YKK AP: 「エクステリア アーチ用門扉」、業界初のアーチ用高尺門扉(2100/2300)を採用 上質な風格をたたえた重厚な門まわりを演出する

35%、高級品(36万円)7%の販売割合。好調な「ルシアスシリーズ」の効果で中級品ゾーンが拡大していることが特徴。

また、型式別には、開き31%、伸縮21%、引戸5%、跳ね上げ8%、その他(アーチ、門柱・門袖等)36%を占める。オープン外構への対応が進められている。

一方、フェンスは、目隠しタイプや木目調タイプ、スチールメッシュの伸びが続いている。門扉・フェンス材質別は、型材87%、アルミ鋳物2%、スチール・ステンレス8%、アルミ木複合3%の比率。

■カーポート—売れ筋商品は、一般地域向けポリカ屋根1台用25万円、2台用50万円。主力は「レイナポート」シリーズで、販売全体の45%を占めている。

また、耐強風タイプ(風速42m/s相当以上)は30%強、耐積雪タイプ(100cm相当以上)が20%強と、耐強風・耐積雪の高強度カーポートの販売比率が高いことも特長。

屋根デザインは、アールタイプ62%、ポリカフラットタイプ12%、折板フラット25%、その他僅少。タイプ別には、片側支持51%、両側支持48%、その他僅少。合掌、2台3台の複数台使用は販売全体の30%を占めている。

門扉・フェンス、カーポート地域圏別は、北海道・東北圏8%、関東・甲信越圏22%、中部・北陸圏24%、近畿圏17%、中国・四国圏12%、九州圏17%の比率。今回、九州圏での販売比率が高かったことが特徴。



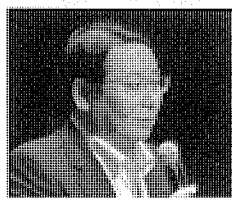
## YKK AP

第6回「APWフォーラム2017」東京会場開催、「APW 330」主力に樹脂窓比率約20%に拡大、更に成長見込む

YKK AP(堀秀充社長)は6月20日、東京・丸の内東京国際フォーラムで「APWフォーラム&プレゼンテーション2017」東京会場を開催した。

2012年の第1回以来、6回目の今回は“2020年に向け、ZEHのスタンダード化への備えを提案”するもので、過去最大規模の全国60ヶ所で開催、5500社・1万人の動員をめざしている。

すでに11会場で開催されたAPWフォーラムには昨年比1割増の参加者があり、東京会場にも750人が参集し、樹脂窓への関心が回を重ねるごとに高まってきている。



挨拶する堀社長

冒頭、堀社長は、「第1回の2012年11月のフォーラムで日本の窓市場の30%を樹脂窓にしていこうとの目標を述べさせていただきました。2012年の樹脂窓は市場の約9%でしたが、2016

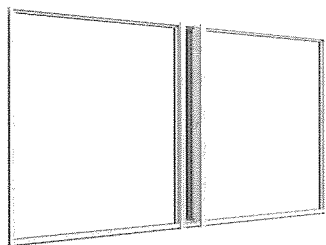
年は約15%まで樹脂化が進んできました。当社の樹脂窓は2012年当時全体よりも低い約7%でしたが、2016年の出荷では20%弱と、約3倍樹脂窓が伸びてきました。樹脂窓APW330シリーズは毎年1.3倍、1.4倍と伸びるヒット商品となりました。東京、関東地区ではすべて樹脂窓ということはないにしても、どこかのシリーズで樹脂窓を採用いただき、皆さまのご商売のお役に立ちたいと思っています」と挨拶した。

引き続き、水上修一執行役員・開発本部長が、ZEHがスタンダード化する中で、工務店の生き残り策をテーマにプレゼンテーションした。さらに、独立行政法人産業技術総合研究所の櫻井啓一郎主任研究員、一般社団法人パッシブハウス・ジャパン松尾和也理事が講演を行なった。

雨天時にも換気できる雨水侵入抑制機能を備えたビル用縦型自然換気窓「EXIMA31 サイドパス」

YKK APは、ビル用縦型自然換気窓「EXIMA

A31 サイドパス」を新発売した。2020年までに率先して取り組まれる新築公共建築物(学校)のZEB化における外気を活用した省エネ対策に最適な商品として販売する。



新商品「サイドパス」は、防犯性に配慮し最適な換気量を確保できる150mm幅のフラットパネル構造。フラットですっきりとした意匠性も特長。内外に開く機構を採用し、室内側のパネル操作と連動し室外側パネルも開放する仕組み。パネル幅に納まるコンパクトなハンドルを採用、閉鎖時にはフラットに収納できる。

換気量の確保に特化した「V仕様」と、自然換気と雨水侵入抑制機能(特許出願中)を備える「RV仕様」の2タイプを用意。とくに、RV仕様は、雨天時や使用者不在の場合、あるいは閉め忘れた場合にも安心して換気できる新機能。2015年発売の排気用窓「EXIMA31 バランスウェイ」と組み合わせ、給気・排気ともに天候変化に対応しながら建物全体で効率的な換気を実現できる。

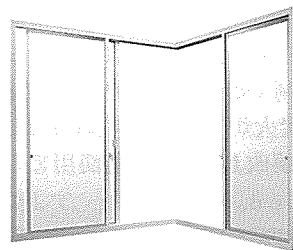
枠見込70mm以内に「パネル」「ハンドル」「雨水侵入抑制がらり」「網戸」の機能を納める構造。基本性能:耐風圧性S-5・S-6・S-7/気密性A-4/水密性W-5/遮音性T-2/断熱性H-1・H-2。参考本体価格:RV仕様、W150×H2000mmで10万8500円。

YKKAP東北製造所、「優良危険物関係事業所 消防庁長官表彰」受賞

YKK AP東北製造所は、平成29年度危険物安全大会において「優良危険物関係事業所 消防庁長官表彰」を受賞した。本年度受賞した24企業の事業所のうちの1社。YKK APとしては平成27年度の四国製造所につづく2度目。安全管理・事故防止・環境改善の徹底、東日本大震災の被災地へのボランティアの派遣、災害時における燃料供給協力に関し大崎市との協定締結、ライフラインのバックアップ体制を築いた地域への貢献度などが評価されたもの。

## 三協アルミ

最大高さ寸法3000mmの大開口実現、中高層建築物に対応可能な「ARM-S」Uシリーズ[U+タイプ]

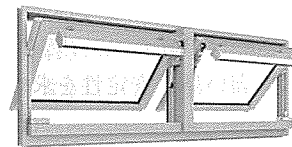


三協立山株式会社・三協アルミ社(中野敬司社長)は、ビル用高性能省エネサッシシステム「ARM-S」のUシリーズ(ユニットサッシ)に[U+タイプ]を追加した。新タイプは、最大高さ寸法3000mmまでの大開口を実現し、中高層建築物地上約60m相当、地上15~20階程度)にも対応できるように基本性能をアップした。また、昨年グッドデザイン賞を受賞した外動コーナー引分け窓、外動片引き窓などを追加し、開口バリエーションの充実を図っている。

基本性能は、昨今の異常気象に対応し、耐風圧性2800Pa、水密性1000Pa、遮音性T-2/T-3の各仕様。また、ガラス溝幅(可動部42mm・FIX部53mm)を拡大し、空気層16mmの複層ガラスに対応した断熱性H-2/H-3仕様。窓種は全16種を用意。

自然換気システム「スウィンドウ」に手動タイプ、電動タイプの個別制御システム、ガラス溝36mm(空気層12mm)仕様などを新たに追加

三協アルミ社は、1996年発売以来、好評の風力で開閉する自然換気システム「スウィンドウ」に、手動タイプ、電動タイプの個別制御システム、さらにガラス溝36mm(空気層12mm)仕様を追加した。



「スウィンドウ」は、風の圧力差に反応して窓が自動開閉する自然換気システム。無風状態で45度開いた状態を保ち、風の流れによって開閉、室内の空気を効率よく循環させることができる。

新タイプの「手動タイプ」は、建物にスポット使用でき、階段室など個々の換気に向いている。また、

「電動タイプの個別制御システム」は、中央制御盤が不要で、窓数のすくない小規模物件用として機器費用や工事費を抑えることができる。電動タイプは、タブレットを利用したスケジュール運転やシステムの各種設定も可能になった。

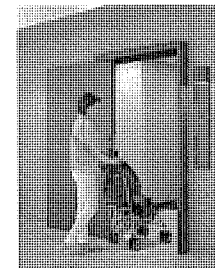
バリエーションは、排気タイプの電動タイプ(標準制御システム/個別制御システム)と手動タイプ。ガラス溝幅16mm単板・28mm(空気層6mm)・36mm(空気層12mm)。また、給気タイプの電動タイプ(標準制御システム)、ガラス溝幅16mm(単板)。標準カラー5色。

## 文化シャッター

業界初の対震性を備えた集合住宅用玄関引戸「ヴァリフェイスAe」発売 開き戸と統一感を出せる扉デザイン

文化シャッター(潮崎敏彦社長)は、業界初の対震性を備えた集合住宅向け玄関引戸「ヴァリフェイスAe」を7月1日新発売した。

屋外用玄関ドアとして必要な基本的な性能と開き戸と同じスッキリとした外観意匠を兼ね備えている。また、上吊り式引戸であるため、ベビーカーや車椅子利用者も体の位置を変えずに容易に扉の開閉を行なえること、外廊下と室内の段差が少ないこと、さらにはレンジフード使用時や24時間換気により室内外の気圧差が生じてもスムーズな開閉ができることなども特長。



基本性能は、耐風圧性S-6/気密性A-3/遮音性T-1/断熱性H-3/特定防火設備適合/対震性D-3相当(面内変形120分の1以内で扉を開けられる)。

独自のDS(ダイアゴナル・サポート=対角支持)スライド機構の採用により、上枠の幅が扉と同じサイになり、全閉時に開き戸と同様のスッキリとした外観になる。ドア枠は、固定枠と取り外しが可能な交換枠が一体となったEF(エクステンジャブル・フレーム=交換可能枠)構造。ドア改修は扉と交換枠を取り替えるだけで、間口を狭めることなくスピーディーに行なえることも特長。

扉基本デザイン3種、面材標準カラー10色・準

標準カラー7色の計17色。マンションドアMXシリーズと色・柄を合わせることで、開き戸との統一感を出すことも可能。参考価格：有効開口幅900mm×有効高さ2000mm、対震簡易気密タイプ、錠前2ロック、ドアガード、ドアスコープ（カバー付き）で49万8200円。初年度3億円目標。

### 三和シャッター工業

#### スチールパーティション「NSP-3-90」新発売、中空層を有したWパネル構造、最大高さ4mに対応

三和シャッター工業（高山盟司社長）は、支柱が表に出ないシンプルデザインのスチールパーティション「NSP-3-90」を6月26日から全国発売を開始した。

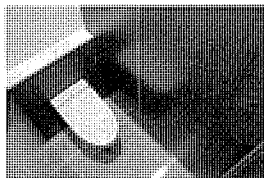
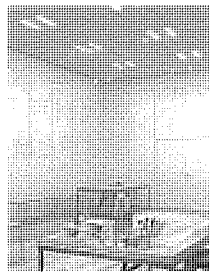
特長は、天井高さ（CH）最大4mまで対応可能、支柱を挟んだ表裏2枚のパネル間に中空層を有したWパネル構造の採用で配管や配線がスマートに行なえること。また、耐震性、耐衝撃性、不燃性の性能も備えている。

パネルは厚さ90mm・W900／1200。通常パネルのほか、ガラスをランマや腰高に設定可能。開き戸（厚さ40mm）は、片開きW900、親子開きW1200、両開きW1800の3種類。凸部のないスマートな納まりの内笠木仕様と、現場での高さ調整が可能な外笠木仕様の2タイプ。

参考価格：W8100×CH4000、両開き（W1800×H210）1ヶ所、化粧鋼板（NSPホワイト）128万円。初年度販売目標3億円。

#### ニオイ原因分子を吸着・分解する複合炭素材（ZENAC）を隔てパネルに組み込んだトイレブース「ラベランダーTA40-Z消臭仕様」新開発

三和シャッター工業は、トイレブース「ラベランダーTA40-Z消臭仕様」を展開する。アンモニア等の臭気や高い湿度で発生するトイレ空間のニオイを大幅に軽減する新商品「消臭仕様」



は、奥行パネル（ブース間の隔てパネル）内に消臭・調湿機能を有した複合炭素材（ZENAC）を組みこみ、アンモニアや硫化水素などのニオイ原因分子を吸着・分解する。同時に、複合炭素材の微細な穴が湿気を吸収し湿度管理も行なう。

表面材に高圧メラミン化粧板、枠材に単板積層材、エッジにアルミ形材を使用。ZENACは、ウッドチップに無機系添加剤（セラミックパウダー等）を配合し、自燃式連続炭火炉で超高温焼成した複合端素材。使用後は土壌改良材としても使用できる。製造元：株式会社Zen。

### 不二サッシ

#### 排気タイプの新型自然風力換気窓「ウインブレス-E X」新発売

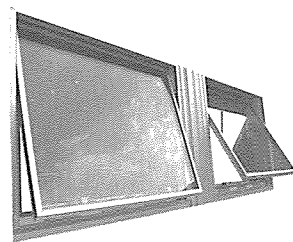
不二サッシ（吉田勉社長）は、排気タイプの新型自然風力換気窓「ウインブレス-E X」を新発売した。建物内換気における排気開口での使用に特化した逆流防止機能を備えた商品。

特長は、発売中のウインブレス（給気開口）と組み合わせることで、計画的な建物内換気システムを構築できる。排煙窓機能も備えており、法律で定められた開口面積を確保した自然排煙窓としても有効活用できる。

また、電動オペレーターの採用による簡単なボタン操作で開放・閉鎖・排煙（障子固定）できる。停電時は手動ハンドル操作可能。BCPにも対応する。高い品質安定性を求められるためにガラス入り完成品として工場出荷。雨センサーによる自動制御。無溶接アンカー工法での取り付けに対応する。空気層12mmの複層ガラス仕様。

#### 「2017年度建材作品コンテスト」作品募集中、締切り2018年3月末日

不二サッシは、建材特約店を対象にした「2017年度建材作品コンテスト」の作品募集を開始した。締め切りは2018年3月末日。募集部門は、一般物件、店舗物件、リニューアル、創造作品、LED建材の各部門。2018年3月末日までの竣工物件。最優秀賞、



金賞、銀賞、アルビーム賞などを表彰する。

#### 3社コラボレーションで夜景に重きを置く都市空間形成のニーズに対応

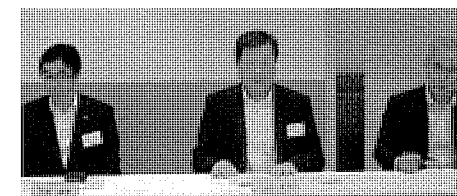
不二サッシと建築向け内外装ガラスの製造・販売メーカー・フィグラ（加藤秀規社長）、照明器具専門メーカー・遠藤照明（遠藤邦彦社長）3社は、革新的な空間演出と建築ファサードを提案する新たなサービス提供を開始した。

3社の得意とするフィールドのノウハウ・技術を結集して、外装サッシ・カーテンウォールに、多彩な演出・デザインを実現するガラスと照明を加えた革新的な空間演出と建築ファサードを提案する。夜景に重きを置いた都市空間形成の設計・デザインニーズに応えるコラボレーション提案。

### 全国自動ドア協会

#### 自動ドア製品のJIS安全規格の普及めざし活動を強化、今年度総生産15万6000台、5.4%増予想

全国自動ドア協会は6月8日、東京・港区のメルパルク東京で2017年度定期総会を開き、今年度事業計画及び上仲宏二会長、山村望副会長、古野重幸副会長の三役・各役員体制を決めた。



中央…上仲会長  
右…山村副会長  
左…古野副会長

上仲宏二会長は、①今年3月制定された「JIS A 4722 歩行者用自動ドアセッター安全性」に準拠した「運用マニュアル（安全篇）」「運用マニュアル（設計篇）」の制定、協会会員への告知と啓蒙を行なう。②JIS規格に準拠した「自動ドア安全ガイドブック」の施主・建築設計者・建物管理者及び外部関連団体等に周知、JIS規格の普及を図る。③JIS規格制定にともない、「品質基準」「施工基準」「保守基準」及び「自動ドアの知識」の改定を行なう——など、JIS安全規格の普及をめざす今年度活動方針を明らかにした。

加盟8ブランドの2016年度総生産台数は14万8000台・前年比2.1%増加した。国内向けが12万

9000台（1.6%増）、海外向け1万9000台（5.6%増）。また、2017年度総生産15万6000台（5.4%増）、国内向け13万5000台（4.7%増）、海外向け2万1000台（10.5%増）と予想。

一方、2016年度国内据付台数は12万8632台（前年比0.7%増）。この内、ビル用6万5818台（1.3%減）、ストア用5万1129台（3.0%増）、産業用1万1685台（2.0%増）。地区別には、全体の35.1%を占める関東が前年比0.4%減少した。リニューアル率は32.9%と前年比1.2ポイントアップ。2007年度のリニューアル率19.3%以降、毎年上昇をつづけている。

なお、2017年度優秀自動ドア施工技能士授賞者19人が総会で表彰された。現在、自動ドア施工技能士は、2016年度の検定合格者232人を加えて1級技能士3407人・2級技能士3361人、計6768人が認定されている。

### 建築改装協会

#### 会員の昨年度末端売上高約1025億円・前年比108%と、協会の長年の目標であった1000億円超えを達成



星忠彦会長

建築改装協会は6月9日、東京・千代田区の弘済会館で平成29年度社員総会及び懇親会を開催し、新会長に星忠彦氏を選出した。

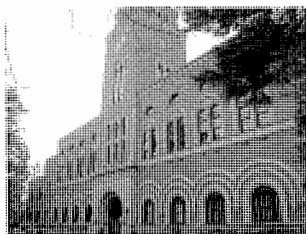
星会長は、「会員各社の昨年度末端売上高約1025万億円で前年比108%となり、協会が長年の目標としていた1000億円を超えました。とくに全体の43%を占める集合住宅改修が前年比115%と大きく伸び、また27%を占める一般ビル改修は前年比108%となりました。本年度は、経済産業省からの「高性能建材による住宅の断熱リフォーム支援事業」、国土交通省からの「長期優良住宅化リフォーム推進事業・住宅ストック循環支援事業」などにより、低炭素社会に向けた、またゼロ・エネルギー化など、既築分野への製作がスタートし、市場への後押しとして大変期待している。

「協会方針としては、改装事業の拡大、改装技術の向上、協会活動の活性化です。具体的には、ベターリビングと共同で取り組んで参りました「特定住宅部品にかかる優良取替事業」指定講習機関として指定を受け、全国での資格取得者は1300名を



超えました」と挨拶した。

また、2016年改装作品コンテストで最優秀賞のLIXILリニューアル関東地区「一橋大学(国立)図書館時計台棟改修工事」、優秀賞のYKKAP関西地区「ろうきん立花サッシ等取替工事」、三協立山関東地区の「神奈川県新庁舎改修及び増築工事」、特別賞の協和産業関東地区「H28東坂戸団地2-13号棟1棟窓建具改修工事」を選考、表彰した。安全表彰は、不二サッシリニューアルの「ライオンズマンション小島町サッシ改修工事」、三協立山の「西小中台住宅アルミサッシ更新工事」。



一橋大学図書館時計台棟改修工事

### 日本木製サッシ工業会

ISO基準での計算による断熱性能値を示し、木製サッシの断熱性能の有効性を積極的に発信——民谷会長



民谷会長

日本木製サッシ工業会は6月21日、東京・霞が関の東海大学校友会館で、第8回通常総会および研究会、懇親会を開催した。

冒頭、民谷浩二会長は、「ISO基準での断熱性能の検証を進めるとともに、グリーンウッド法

や木製防火設備に関する構造方法の告示化に関する取り組み、防犯や断熱、デザインを含めて新たな木製サッシの取り組みも皆様と一丸となり、また関係省庁のお力をお借りして積極的に推進する」と挨拶した。事業計画は、①国土交通省建築基準整備促進事業 防火設備(窓)に関する構造方法の告示化委員会(実施主体:カ防協)への参画、②2020年「省エネ基準適合住宅の義務化」に向けた対策として、ISO基準での計算による断熱性能値を示せるようにするなどを決めた。

総会後の研究会では、スウェーデンハウスの出蔵達也氏が「木製防火設備(窓)に関する構造方法の検討」と題して、平成27年度から28年度に実施された検証試験について講演した。

同工業会は正会員14社、賛助会員2社の計16

社で構成。工業会調べの平成28年木製サッシ国内生産・販売1万4%増。窓種では外開き35.0%、引き窓(戸)30.4%、はめ殺し窓21.4%が主力タイプ。

### 日本建材・住宅設備産業協会

ZEH普及促進事業、リフォーム推進事業、「グリーン建材・設備製品に関する国際標準化事業」などに取組む



石村会長

日本建材・住宅設備産業協会は6月15日、東京・明治記念館で平成29年度定時総会・懇親会を開催した。

冒頭の挨拶で、石村和彦会長は、①ZEH普及促進事業及び既存住宅の流通拡大促進を含むリフォーム推進事業。政府の具体的な支援施策として、経済産業省の「省エネルギー投資促進に向けた支援」、国土交通省の地域型住宅グリーン化事業、長期優良住宅化リフォーム推進事業、住宅ストック循環支援事業などの政策が動員されている。とくに、既存住宅の流通活性化策としての仮称「安心R住宅」制度の設立に高い関心をもち対応していく。②経済産業省の委託契約で「グリーン建材・設備製品に関する国際標準化事業」が始まる。温水洗浄便座の国際電気規格の制定の詰めに加えて、高日射反射率塗料の日射反射率測定方法、WPRCの試験方法のこくさ標準化に新たに取り組む。③情報提供サービス「カラタボ」の業界トップクラスの電子カタログ検索システムへ進化を続けると述べた。

### 長期使用住宅部材標準化推進協議会

CjK部材66品目、会員企業78社に増加、CjKマーク表示の促進、会員の採用率を増やし普及を拡大

長期使用住宅部材標準化推進協議会(略称:長住協<CjK>、伊久哲夫会長)は、第5期(平成28年5月26日~30年3月31日)目標である①CjK70品目、会員企業100社に増やすこと、②CjKマーク表示の促進、会員企業の採用率を増やしCjK部材を普及拡大、③住宅関連業界団体、DIY業界との連携強化による流通基盤づくり——の達成に向けて順調に活動を展開している。28年度実績では、新たにCjK部材9品目を標準化して計66品目、新規6社入会し計78社に、それぞれ増加した。

いつもの場所を、価値ある空間に



進化を続けるマイポート・シリーズ

オリジン

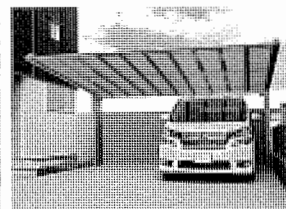
# マイポートOrigin

NEW

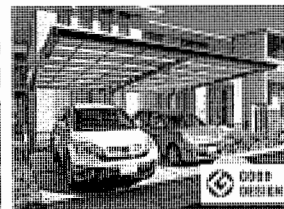
2003年に誕生した  
それまでの常識を覆した後方支持カーポート  
それが 四国化成のマイポートです。  
そのマイポートが  
今年 新たなステージへ——。



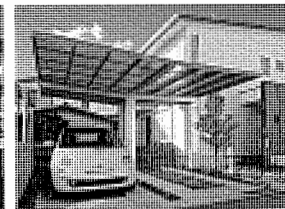
マイポート Origin FX



マイポートV



マイポートNext



マイポートneo

四国化成工業株式会社  
http://kenzai.shikoku.co.jp

数寄野 TEL.022(374)4110 東京 TEL.03(3451)4111 中部 TEL.052(705)0111 四国 TEL.0877(58)5211  
東関東 TEL.029(875)8600 神奈川 TEL.045(253)4111 近畿北陸 TEL.06(6339)4111 九州 TEL.092(431)4111  
北関東 TEL.0493(62)4127 静岡 TEL.054(286)4111 中国 TEL.086(245)3811